

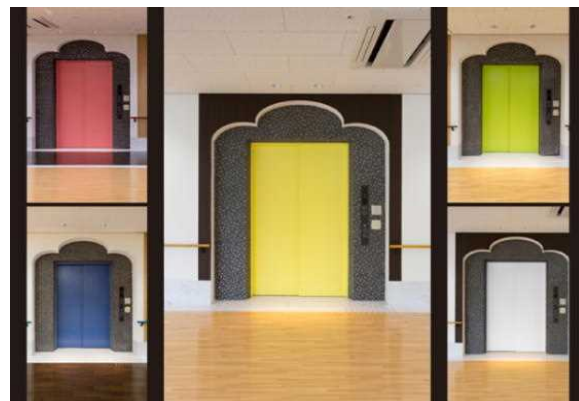
ユニバーサルデザインによるまちづくり賞<街づくり部門>

特別養護老人ホームねんりん

海部郡美波町西の地字志和岐谷37-1



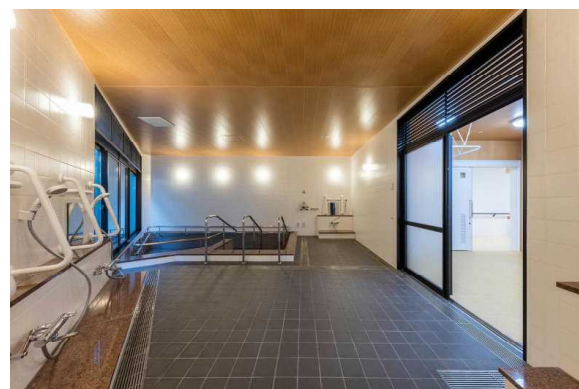
全 景



各階色を変えたエレベーターホール



多機能トイレ



浴 室

設置者 社会福祉法人由岐福祉会

設計者 株式会社平島弘之+TEAM28

○「特別養護老人ホームねんりん」は、津波のこない高台に建ち、従来の老人福祉施設のイメージを脱却し、リゾートホテルやコミュニティホールのような地域のシンボルとなる外観にしている。

○広々とした多機能トイレを各階に配置し、使用者や介助者が使いやすいように設計されている。

○浴室と脱衣所の間はフラットで段差をなくし、浴槽や洗い場には手すりを設置し、高齢者にやさしい設計となっている。

ユニバーサルデザインによるまちづくり賞<街づくり部門>

パナソニック エイジフリーケアセンター徳島万代

徳島市万代町6丁目1番3



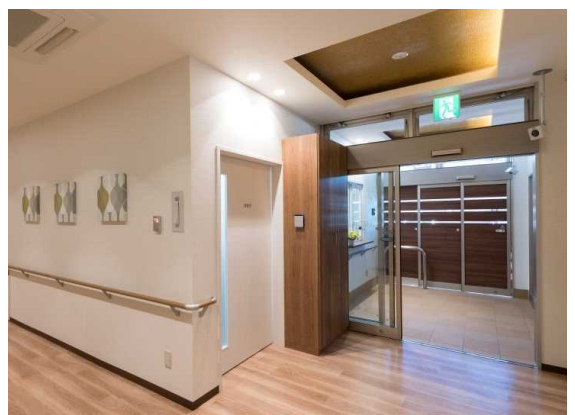
全 景



離床アシストベッド



浴 室



施設出入口（顔認証システム設置）

設置者 パナソニック エイジフリー株式会社
設計者 大和ハウス工業株式会社 徳島支店

○「パナソニック エイジフリーケアセンター徳島万代」は、高齢者向けの住まいづくりのノウハウを結集し、快適な生活空間を実現している。使いやすさに配慮し、自立支援を高めた電動ケアベッドやリハビリ機器、水まわり機器や内装建材、LED照明などを導入している。

○浴槽はまたぎやすい深さにし、2つの排水口を設けることで排水時間が短くなるように設計。脱衣室はぬれると滑りにくくなる防滑床を設置して、安全性を高めている。

ユニバーサルデザインによるまちづくり賞<意識づくり部門>

みなとクリーン 清掃をとおした地域協働活動

徳島県立みなと高等学園



地元の美容室での清掃活動



福祉施設での清掃活動



福祉施設での清掃活動



地域の人に清掃の技術を伝達

○「みなとクリーン」の活動は、地域の福祉施設等の清掃活動（地域協働活動）をとおして、発達障がいのある生徒が社会的に自立する力を培うための一助になるように展開するとともに、実際に暮らしている地域の人と人とのつながりを大切に、発達障がいについて理解を深めていただくことで、お互いに尊重し、地域の一員として活躍できる社会を目指している。

○地域の人に清掃の技術を伝達する機会や同じ施設から重ねての清掃の依頼などにより、地域の人や施設の職員との交流が深まってきている。

ユニバーサルデザインによるまちづくり賞く意識づくり部門>

市民と行う鳴門市 ユニバーサルデザイン点検会

公益社団法人徳島県建築士会



第1回点検会（鳴門市文化会館他）



第2回点検会（鳴門市立図書館他）



第3回点検会（鳴門市役所他）



第4回点検会（うずしお会館他）

○多くの住民が日常利用する公共施設を、高齢者や子供たち、障がい者などの視点で、誰にでも使いやすいかどうかを点検する「ユニバーサルデザイン点検会」を開催し、ひとにやさしいまちづくりの普及・啓発を行っている。

○点検会の内容は、はじめにユニバーサルデザインについての説明を行い、その後、グループに分かれて施設を点検し、ワークショップ方式で点検したことについてグループの意見をまとめ、改善策を考えて発表する流れとなっている。点検会の後、報告書を作成し、参加者や行政に配布している。

ユニバーサルデザインによるまちづくり賞く意識づくり部門>

チャレンジ 点訳

点訳の会UZU



①点訳絵本作りの様子



②点訳絵本作りの様子



③点訳絵本作りの様子



④点訳絵本作りの様子

○点字体験を通して会員だけでなく、広く地域の子供たちと交流を持ち、共に楽しみながらまた支えあい、視覚障がい児の読書の推進に少しでも役立ちたいとの思いで活動している。

○2004年から北島町立図書館で、毎週土曜日に体験教室を開催し、点字への理解を深める場として定着している。体験教室では、図書館の蔵書から好きな絵本を選んでもらい、パソコンの点訳ソフトを使って文章の打ち込みや点字で挿絵を描くことができる。

○できあがった点訳本は特別支援学校に寄贈している。

ユニバーサルデザインによるまちづくり賞<意識づくり部門>

みんなが楽しみ、学び、 ふれあって、ともに生きる社会づくり

徳島県肢体不自由児者父母の会連合会



ハンドアーチェリーの体験



ハンドアーチェリーの交流



防災食の試食・展示



防災セミナー（バリフリBOX）

○県内7つの障がいのある子供をもつ家族の会の連合会で、様々な障がいのある子供たちと家族が各地域に溶け込み、障がいのあるなしに関わらず、理解し合い、支え合い、生きがいを持って過ごしていける社会を作ることを目的に活動している。

○ハンドアーチェリーは、矢を投げるのが難しい方々の補助具を備え、誰もが参加でき、競技できるレクリエーションスポーツとして地域の様々なイベントや学校の文化祭で実施。今年度から始めた関係機関連携イベント「バリフリBOX」は、障がいの有無に関わらず、多くの方々が出会い、情報を共有し、楽しく障がいの理解を深める交流の場として、誰でも参加できるイベントとした。